

庭園植栽ゾーン

国際フォーラム庭園の植栽計画(案)

目 次

計画の検討フロー

I. 分析

I-1 計画地の特性	I-1
(1) 計画地の立地・位置づけ	I-2
(2) 歴史的経緯	I-4
(3) 魅力資源と庭園利用	I-10
I-2 植栽の特性	I-21
(1) 現況植栽の特性	I-22
(2) 植栽管理等	I-33
(3) 草花類植栽の検討	I-34
I-3 上位計画等の整理	I-38
(1) 法規制	I-39
(2) 上位計画	I-40
I-4 計画課題の整理	I-44
(1) 庭園の課題	I-45
(2) 植栽計画の課題	I-47

II. 植栽計画

II-1 基本的な考え方	II-1
II-2 計画方針	II-2
(1) 計画方針	II-2
(2) 目標植生	II-7

III. 実施計画

III-1 検討条件の整理	III-1
III-2 整備と管理の方針	III-2
III-3 整備計画	III-13
(1) 整備概要	III-13
(2) 整備工程の検討	III-16
III-4 事業上の課題と対策	III-18
(1) 事業上の課題	III-18
(2) 課題への対応策	III-18

計画の検討フロー

I 分析

1. 計画地の特性

立地特性、歴史的経緯、魅力資源（眺望・植栽）、庭園利用

2. 植栽の特性

現況植栽、植栽管理、草花類植栽の検討

3. 計画条件

各種法規制、上位計画等

4. 計画課題の整理

1. 庭園の課題



2. 植栽計画の課題

II 植栽計画

1. 基本的な考え方



2. 計画方針

計画方針



目標植生

III 実施計画

1. 検討条件の整理



2. 整備と管理の方針



3. 整備計画

4. 事業上の課題と対策



I. 分析

I .分析 主要な修正項目

庭園の回遊性や魅力資源、園路等について再検討するため、以下の検討を加えた。

- 庭園の歴史的経緯を詳細に分析し、現庭園の基本的な空間特性を明らかにした。

⇒ I - 4頁 1- (2) 歴史的経緯

- 現庭園の魅力資源について、季節性や利用経路、景観等を分析し、景観展開の特徴を整理した。

⇒ I - 10頁 1- (3) 魅力資源と庭園利用

- 奈良公園全体の草花類の植栽方針（案）に基づき、草花類植栽の検討内容を見直した。

⇒ I - 34頁 2- (3) 草花類植栽の検討

以上の検討にあわせて、目次構成を「庭園全体の課題から植栽の課題に絞り込む順序」に変更した。

I - 1 計画地の特性

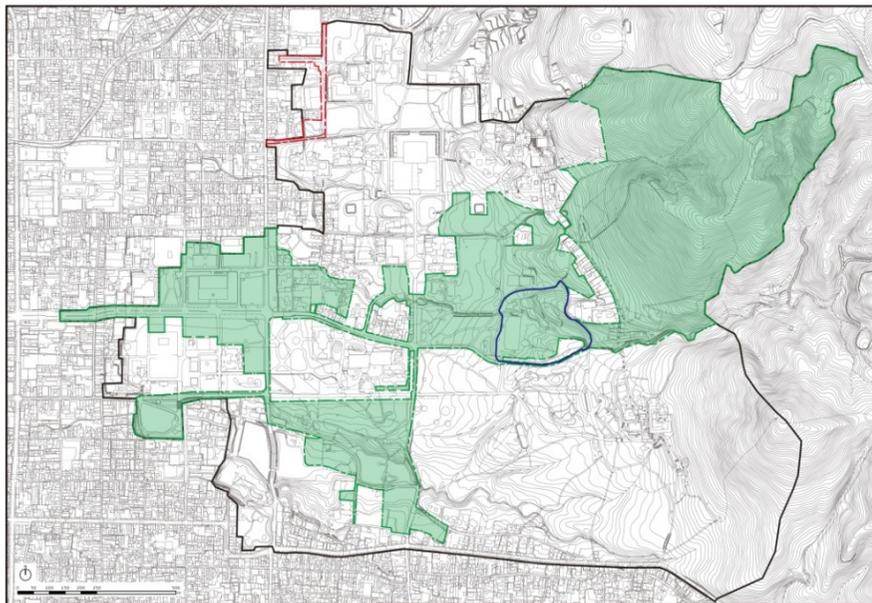
I - 1 計画地の特性

(1) 計画地の立地・位置づけ

計画地の立地

計画地は、公園全体の計画区域の中央付近にあり、若草山山麓と平坦部の接点に位置している。計画地の範囲は主に都市公園区域であるが、一部は春日大社境内地となっている。

1) 計画地の位置・諸元



計画区域
 県事業エリア
 計画地 (国際フォーラム庭園)

図: 計画地の位置

○面積 約4.7ha

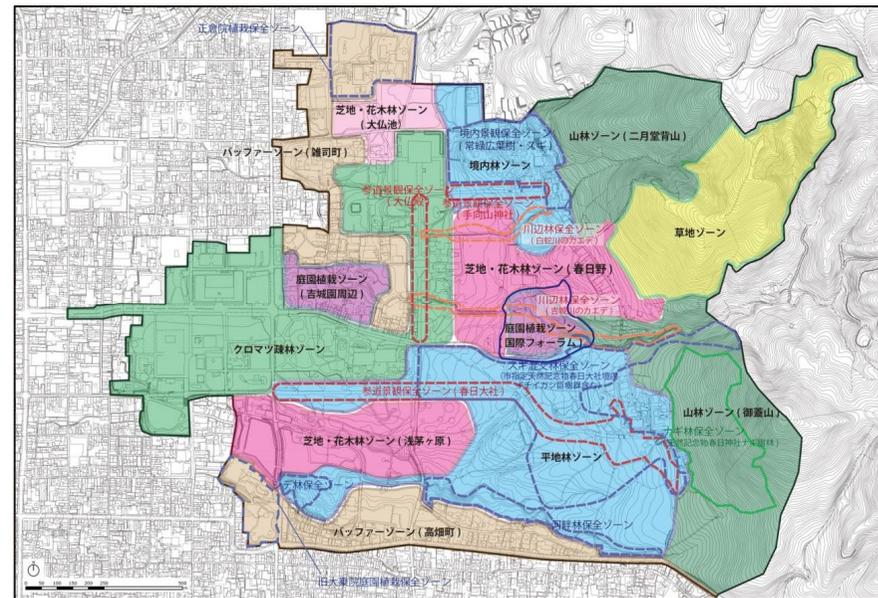
○土地内訳

県事業エリア(都市公園:奈良公園) 約4.0ha

春日大社境内地 約0.7ha

※計画地内の植栽管理は、全て奈良公園事務所が実施している。

2) 計画地とゾーニングの関係



計画区域
 全色 ゾーン
 計画地(国際フォーラム庭園)
 全色 サブゾーン

図: 計画地とゾーニング

I - 1 計画地の特性

3) 計画地の位置づけ

計画地の位置づけ

- ・計画地は、土地利用的に見ると奈良春日野国際フォーラム・麓及びその隣接地と捉えることができる。奈良春日野国際フォーラム・麓（以下「麓」と称する）は、同時通訳施設や能楽堂を備えた国際コンベンション施設である。
- ・「麓」は奈良公園をはじめとする世界文化遺産に囲まれた中に位置しており、周辺環境に調和した大規模な庭園と一体となったコンベンション施設は他に類を見ないものと評されている。庭園は、コンベンション施設の魅力の一つとして、多様な利用がなされている。



庭園パーティ(貸切)



同左



同左



ナイトパーティ(貸切)



庭園コンサート



同左



東大寺聖武天皇祭



なら瑠璃絵(夕方・玄関前)



なら瑠璃絵



若草山焼き



若草山焼き・大花火



なら燈花会